

December
12

1996
No. 688

小田原

広

報

ODAWARA
Public
Information



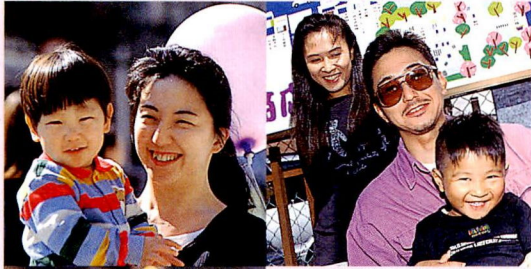
発行*小田原市

小田原市荻窪300番地 ☎250

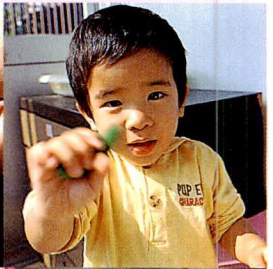
編集*広報広聴課

☎0465(33)1261

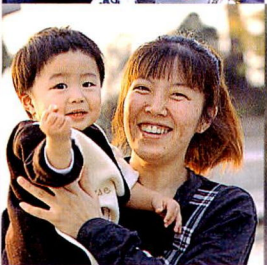
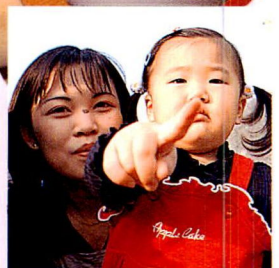
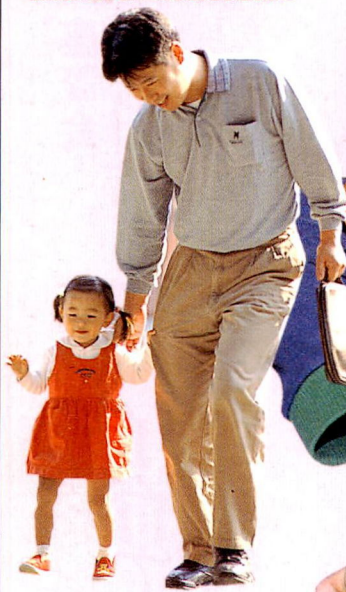
(毎月1・15日発行)



いきいき 子育て



特集



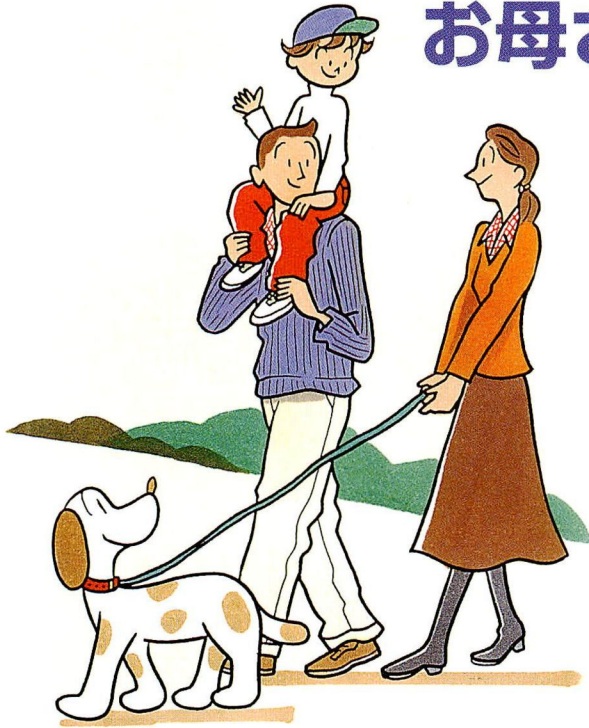
お母さん、お父さんへの応援歌
子育て中は不安や疑問が多く、相談相手さえ見つからないときもあります。でも、よく周りを見つめ、勇気を出して外へ歩み出すと、まちの中には、話を聞き、相談にのってくれるたくさんの先輩や仲間がきつといるはず……。

●主な内容

- ◆特集・いきいき子育て 2
- ◆総合文化体育館・小田原アリーナ完成 8
- ◆みかん減反跡地開発 10
- ◆小田原城跡整備 11

特集：いきいき子育て

お母さん、お父さんへの応援歌



お母さんも、お父さんも、子供たちも、みんな元気に！小田原にはそんな子育てを実現している人、それを応援している人がいます。子育てしやすいあたたかいまちにしたい。——これは、小田原のたくさん仲間たち共通の願いなのです。子育てに不安や悩みをもっているお母さん、お父さん。悩みを自分の中に閉じこめないでください。不安を一人で抱え込まないでください。勇気を出して声を出せば、それを受けとめてくれる仲間たちが、このまちにはいるのです。

座談会

小田原って、子育てしやすいまちなの？

私たちの暮らす小田原は果たして子育てしやすいまちなのだろうか？今、子育て真っ最中の4人の方々に話し合ってもらいました。

親子で楽しめる場所がすごく少ない。これはなんとかしてほしい。

岡部 私の場合、仕事場も住まいも駅前。だから余計そう感じるのかもしれないけど、小田原は親子で安らげる場所、子供だけで遊べる場所が本当に少ないですね。

藤原 同感です。公園はあるにはあるけど、子供が長時間飽きずに遊べるところがない。だから私なんかわざわざ平塚にある大きな運動公園に足を伸ばしています。

小林夫 確かに平塚の公園だったら、1日遊ばせてあげられますね。私は正直言って子育ては女房任せなんですけど、たまの休日に子供をどこかに連れて行ってやるうと思つと、市内では連れていく場所がないということに気づきますね。

藤原 平塚は体を思いきり動かせる場所があったり、動物にふれあう場所があったり、広い場所を移動しながら幾通りもの楽しみ方ができるのが魅力ですよ。

小林夫 市内にも上府中公園があるけど、そこで1日中楽しめるかという疑問ですもんね。

小林妻 そつそつ。遊具が少ないんですよ。何だか老人の散歩道（笑）という感じで、公園としては中途半端かな。

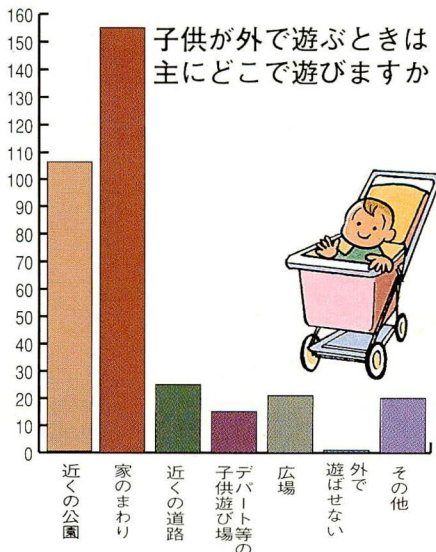
岡部 といって城址公園はどうかというと、あそこはどうしても観光客の方を向いてしまっているし。

小林妻 何とか、小田原の自然環境のよさを生かした公園ができないものかなと思いますね。

小林夫 それが住民のシンボルになれば面白いと思います。今、小田原には住民のシンボルといえるものがないでしょう。

藤原 あと困っているのが、雨天のときの遊び場。中里

子供が外で遊ぶときは主にどこで遊びますか？



資料 「おだわら輝く女性のネットワーク」が子育て中の女性に伺いました（以下同じ）

にマロニエという施設ができて少しは助かっているんですけど、まだまだ足りない。雨天のときでも、アスレチックのような体を動かして遊べるスペースがほしいですね。

岡部 新たに施設をつくらなくても、たとえば土日は既存の保育園の一室を開放してもらって、ボランティアの保育学生や老人の方に子供たちを見てもらうとか、工夫のしようはあると思います。まずはあるものをうまく使っていくというのが手っとり早いのでは。

小林夫 今建設が進んでいる体育館にしても一部に公園部分を設ければ、スポーツ施設としてだけではなく、多目的に利用できるようになりますよね。親も遊べる、子供も遊べる、そんな施設こそつくってほしいですね。

ここに聞けばすべて分かる。そんな子育て情報の案内係があれば...

小林夫 話は変わりますが、私は今、知人などから幼稚園の情報を集めているんですよ。女房が小田原出身ではないので、そういうのは私の役目なんです。でも夫婦そ

特集：いきいき子育て

お母さん、お父さんへの応援歌



岡部匡昭さん

1歳6か月と2歳6か月の2人の女の子のパパ。駅前中央通りで陶器・漆器の店を経営。公務員の妻と二人三脚で子育て中。



藤原恵美さん

お子さんは3歳11か月と1歳6か月の男の子。典型的な核家族、共働き家庭を切り盛りしつつがんばる小田原っ子ママ。



小林浩子さん

神戸生まれの神戸育ち。学生時代を東京で過ごし、小田原へ嫁いで専業主婦に。現在、3歳の女の子と12月に生まれる赤ちゃんのママ。



小林省隆さん

浩子さんの夫。鴨宮でユニフォームなどの販売業を営む。仕事が忙しいため、子育ては妻に任せきりだとか。

ろって市外から来た方は、どこでそうした情報を集めるんでしょね。

小林妻 地元の方でもどこにどんな幼稚園がどれくらいあるか自分の子供を通わせてない限り、なかなかご存じないですからね。

岡部 小田原って、観光客のための情報ならたくさんあるんですけど、それに比べると住民のためのものは少ない気がしますね。幼稚園情報に限らず子育てについてどこに聞けばいいかわからない、というのが実情なのかな。

藤原 いつも思うのは、こういうのはどこに聞けばいいのかを教えてください。案内係があればいいのにと。電話帳を見ても、何をどう探せばいいんだろうと迷ってしまうんです。

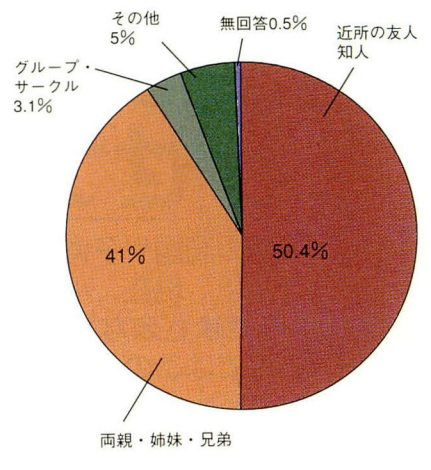
岡部 1か所、そこなら子育てのこと全部がわかるという場所があれば助かりますよ。

藤原 保健センターが一部その役割を果たしてくれてるみたい。1人目の子の歯の生え方が少しおかしかったので、早めに処置する方法はないかなと思って電話してみたら、すごく丁寧に対応してくれました。

小林妻 私も乳幼児健診では親切で安心できる感じを受けました。私の場合、健康上の問題は小さなことでもかかりつけの病院に電話して相談してますけど。

藤原 地域育児センターでも相談を受け付けているはずですけど、果たしてどれくらいの方が利用しているのか疑問ですね。せっかく「保育園に通ってない地域の子供たちのためにも」ということで運営してくださっているのでもっと「何でも聞いていいんだよ」とアピールしてほしいですね。近所で話せる人がいないと、若いお母さんはすごく不安になる。だけど大抵はささいなことが

子育てについての相談をする人やグループがありますか？

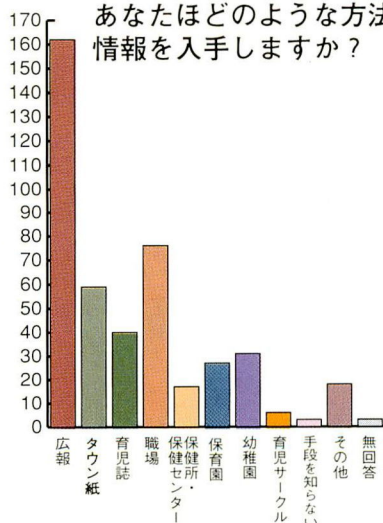


悩みのタネで、「皆そっぴだよ」と人に言われるだけでホッとしたりするものなんです。

身近な相談相手を見つけたいだからこそ、地域交流が大事になってくる。

小林妻 そっぴという意味では、お母さん同士の交流って大切ですよ。私はこの4月から夫の妹の紹介で「タンポポキッズ」という子育てサークルに参加しています。これまでは相談という、離れて暮らす姉や大学時代の友人に電話してたんですが、これからはサークルを通して相談できる地元の友人ができるといういなあと感じるところなんです。私みたいに市外から嫁いできてサークルにも参加してなくて、さみしい思いをされている方って結構いるんじゃないかしら。

あなたほどのような方法で情報を入手しますか？



小林(夫) 待つてるだけじゃ始まらない。自分から声をかけてみる努力をすることも大事。

藤原 とは言っても性格的にできない人もいるし。小田原って意外に保守的なまちで、新しく入って来た人同士で打ち解けない面もある。行政でならかのサポートをしてほしいですよ。

小林妻 講演会などの催しものはあるんですけど、「母としての教え」なんてちょっとカタい感じだと敬遠しちゃう(笑)。もっと気軽に参加できる企画を考えてもらいたいというのはありますね。

岡部 地域で運動会をやっているけど、今は高齢者のためのイベントのような感じもします。親子運動会みたいなものがあるといいんじゃないかな。

小林(夫) そっぴということも確かに必要ですね。いろいろ話してきたけど、子育てしやすいまちへの道のりは決して楽じゃない。でもこれはきつと、どこのまちでも抱えている問題ですよ。



「公園緑地課」

ふだん利用できる公園と、親子で1日楽しめる大きな公園。2本柱で子育てをバックアップ。

公園づくりは、重要な子育て支援の1つ。市の公園緑地課ではどのように進めているのでしょうか。

■歩いて5分以内に公園を

半径250m以内、つまり歩いて5分くらいで行ける場所に1か所を目標に、公園整備を進めています。とはいえ、人口密度の高い市街地では土地の確保がなかなか難しいのが現実。そこで公園のかわりになる施設としてみどりの広場をつくっています。10年賃貸借の土地なので原則的に遊具が設置できないのですが、地主さんに協力してもらって多少なりとも遊具をつける方向を模索しています。公園に対する市民の皆さんからの強い期待を感じつつ、今まさに試行錯誤している最中。子供たちが安全に楽しく遊べる公園をつくるためにも、どんな情報や意見をいただきたいですね。

■これからの公園づくり

1日たっぷり親子で楽しめる場所として、2つの大きな公園の計画が進行中です。1つは辻村植物公園といこ



お母さんの社会参加をお手伝い
託児ボランティアグループ 写真は「はちの会」

すくすくりポート テーマは、子供の しあわせづくり。

座談会では、公園の問題や子育て情報が話題になっていました。現在、小田原市では“子育て支援”をさまざまな角度から進めています。ここではこの2つの問題を中心に3人にインタビューしました。



私が担当です
公園緑地課 加藤高男

いの森の隣接地にできる「小田原子供のもり公園（仮称）」。“感性豊かな子供を育てる”ことをねらいとして、動物とふれあえる施設や子供列車などを取り入れられます。もう1つは、フラワーガーデンの隣接地に予定している「県立小田原地区公園（仮称）」。こちらは小さいお子さんからお年寄りまで幅広い層を対象に、自然に親しみながらの体力作りや、遊びを通して学ぶことのできる公園になります。2つの公園に共通したコンセプトは「小田原の自然を生かす」こと。小田原らしい個性を打ち出した公園にしていきたいと考えています。

園 公園緑地課 ☎ 3315833



ハラハラドキドキ沐浴の練習
お父さんもがんばって
写真は保健センター「マタニティークラス」



小学校に入学してもまだ目が離せません
働くお母さんをバックアップ
写真は「酒匂地区放課後児童クラブ」





特集：いきいき子育て

お母さん、お父さんへの応援歌



ご近所同士でお遊び
お母さんの情報交換の場にも
写真は橘地区の「ふれあいルーム」

■育児相談は子育て支援の大きな柱
病気や事故の対応だけではなく、哺乳や便秘・湿疹など日常的な相談にも応えています。今のお母さんの関心事はなんとといっても子供の発育。育児書やほかの子と比較して気になる傾向があるようです。そんな不安を抱える原因は、身近に相談相手がないことではないでしょうか。

そこで平成9年4月からは育児相談を定期的に開き、自由に相談できて、お母さん同士も交流できるようなスペースを提供していきます。それと同時に、育児サーク



私が担当です
保健センター 猿田貴美子

「保健センター」
小田原の母子保健事業の拠点として
保健センターがあります。

保健センターでは、安心して生き生きと子育てができるまちづくりをめざして、さまざまな事業を行っています。さて、その中身は？

地域育児センターの重要な役割の1つに育児不安を起さないための知識の提供があります。年7回子育て勉強会を開いていて、もちろん親子で来てもらえます。そ

「地域育児センター」 地域のすべての子供たちの成長を やさしく見守っていきます。

小田原市には、保育所などに通っていない子供をもつ親をはじめ、すべてのお母さんお父さんを応援する「地域育児センター」が9つの保育所などの中にあります。その1つである山王保育園の都築融光園長に活動内容を伺いました。



地域育児センター (面接は事前に連絡を)

施設名	相談方法	相談日時	電話番号	所在地
小田原愛児園	電話と面接	毎週月～土曜日 9:30～16:00	22-3030	浜町1-4-38
山王保育園	電話と面接	毎週木曜日 10:00～16:00	34-0380	東町1-30-30
春光保育園	電話と面接	毎週木曜日 10:00～16:00	48-5162	鴨宮444
国府津保育園	電話と面接	毎週水曜日 13:00～16:00	47-3355	国府津3-11-25
西大友保育園	電話と面接	毎週木曜日 13:00～16:00	36-4378	西大友485-2
ゆりかご園	電話	毎週月～土曜日 10:00～16:00	48-4958	酒匂2-41-39
	電話	毎週月・木曜日 13:00～16:00		
	面接	毎月第2土曜日 [非行・いじめ110番(完全予約制)]		
市立城山乳児園	電話	毎週月～金曜日 13:00～16:00	34-0465	城山2-1-5
	面接	毎週火・金曜日 13:00～16:00		
市立桜井保育園	電話と面接	毎週月～金曜日 13:00～16:00	37-3914	曾比2153-2
市立豊川保育園	電話と面接	毎週月～金曜日 13:00～16:00	36-6539	成田654-5



地域育児センター
山王保育園 園長
都築融光さん

■妊娠、出産、育児を総合的に支援
また保健センターでは、妊娠・出産・育児まで母子を一貫した体系でとらえ、総合的な子育て支援を進めていきます。母子保健法が改正され、来年度からは乳幼児健診のすべてを市町村が実施することになりました。都道府県と2本立てだったものが1本化されたので、さらにきめ細かな支援ができるようになります。必要に応じた家庭訪問もよりタイムリミグよく行えるようになり、ますます保健センターが身近な存在になると思います。

保健センター ☎470820



の日は、ボランティアの保母さんに手伝ってもらってすよ。そのほか、保育の専門家を招いて開設している毎週1回の相談コーナーや、地域の育児サークルへの交流コーナーの提供、育児に関する図書、ビデオテープなどを貸し出す情報コーナーなど、サービスは盛りだくさん。地域の方が自由に出入りでき、利用できるオープンなセンターをめざしています。一時保育も通院や冠婚葬祭以外の理由でも受け付けています。また、地域の子供たち全員に目を配っていかうという考えから、小学生のいじめの問題についての相談にものっています。

児童福祉課 ☎331451

はつらつインタビュー お母さん、お父さんへの応援歌

10人いれば10通りの子育て！そこで、小田原で“いきいき子育て”をしているお母さん、お父さんに、それぞれの経験を伺いました。

私たちのまちにはすてきな先輩がたくさんいます。がんばってお母さん、お父さん。小田原で“いきいき子育て”をしてきたこのすてきな先輩たちからのメッセージが皆さんの“子育て応援歌”になることを願っています。



マタニティクラス、育児サークル…。交流の場を通して、地域のママたちとのいいお付き合いが始まりました。

私の場合、育児環境に関しては恵まれているほうかもしれません。いざというときにはおばあちゃんに子供を預けることができますし、うちの主人も協力的なんですよ。

ただ最新の子育て情報となると、今暮らしている地域の先輩ママに話を聞いたり、同じ年齢の子供をもつママたちと情報交換をしたりする場をもちたいなあと思っていました。うちの母に聞いても、やっぱり時代も違うし、遠い昔のことなので本人も覚えてなかったりするんですよ。だから、出産前から新聞や広報を気をつけて見るようにして、交流の場を探そうと努力しましたね。

出産前にすぐ助かったのは、先輩ママの話を伺う機会を保健センターで設けていただいたこと。地区ごとに分かれていたので、うちのご近所の先輩もいて。ラッキーなこと、その先輩は私よりほんの半年前に出産したばかりだったんです。以来、近所のスパーや道で出会った際に、それこそ身近で具体的なアドバイスをいただきました。今でも出会うと「だいぶ大きくなったね」なんて気軽に声をかけてくれるんですよ。

今私が参加している育児サークルも、もともと保健センターの「育児教室」から始まったもの。保健婦さんがサークルの行事をアドバイスしてくれたり、市がほかのサークルとの交流会を催してくれたりしますので、ここでもお友だちの輪が広がっています。おかげさまで、「子育て中の孤独」なんて私にはないんです。



浅倉則子さん

浅倉さんは持ち前の明るさで積極的に仲間の輪を広げながら、子育てを楽しむ現代ママ。まもなく3歳になる1人娘には、「感受性の高い子供」に育てほしいと願う。一緒に散歩しながら、自然にふれることのできる小田原は子育てに最適の環境という。

怒鳴りながら子育てしてきました。振り返って今思うのは、子供たちと話し合う下地を作っておくことの大切さです。

うちは子供が3人いるので手のかかる時期はもう戦争でした。屋根の上をとんで歩くようないたずらっ子たちだったので、大声でしかってばかり。だから、子育てに關して立派なことは言えないです。

子供が小さかったころは悩んだ時期もありました。友だちは資格を取ったり、仕事をしたりして社会に出ているのに自分は何もやっていないという感じで。正直言って、子供がかわいいと思えなかったこともあります。この悶々とした時期をどう乗り切ったのか…。ただ、時間が解決してくれたということは言えます。でも、そんな中でも「子育てで手いっぱいだから何もできない」というのではなく、与えられた条件の中でどうして「こうか」ということは考えていました。今振り返ると、このことが、自分自身にとってもよかったのではないのでしょうか。

子供はしかつてもいい、怒鳴りっぱなしでもいいと思えます。大切なのは、「この親ならいざというとき、話を聞いてくれる」という信頼関係だけはきちんと作っておくことだと思います。

最後に、私は、縁が多く人情の厚い小田原のまちが大好きです。そして、このまちで子供たちと生活できたことを幸せに思っています。だから、成長した子供たちにとってもこの小田原のまちが、「ほっ」とできる安らぎのふるさとであり、いつでも戻って来れる場所になるように、これからも子供たちと接し、信頼関係は築いていきたいです。



小澤典子さん

現在、東富水小学校のPTA会長をされている小澤さんは、高1、中2の男の子、小5の女の子の3人の母。今はなによりも子供と過ごす時間を一番大事にしたいという。自分自身がやりたいことは、時期がくるまであためておきたいのだとか。



特集：いきいき子育て お母さん、お父さんへの応援歌

【子育てアドバイザーから一言】 子育てで大切なのは、 お母さんがリラックスすること。

子育て中のお母さんは、いろんな悩みを抱えているもの。特に初めての子のお母さんはちょっとしたことで不安になってしまいますよね。まして「生後4～5か月では外にも出られないし、ご主人は帰りが遅くておしゃべりすることもできない」なんてときは、本当につらいと思います。でも、お母さんがイライラしていると、お子さんにも悪い影響を与えてしまうんですよ。なんといっても、お母さんがいつもリラックスしていることが一番大切なことです。といっても、これは案外難しいこと。

そこで、私たち子育てアドバイザーは、お母さんたちの情緒面のフォローをしていきたいと思っています。マロニエの「こそだて広場」は、お母さん同士・親子同士、本当にフリーに過ごせる場所。私たちは子育ての先輩として楽しいおしゃべりができたらと考えています。子育てのヒントを得られることもあるでしょうし、ほっとすることもあると思いますよ。名前を登録するというものもない。まったく自由に気軽に、構えずに、それこそリラックスして来てみてください。



子育てアドバイザー 鈴木裕美子さん 鈴木みよ子さん

こそだて広場
毎週水曜日 10:00～12:00
マロニエ和室にて

どちらかというところ、うちでは子供は放つてあるほうです。スポーツクラブ、コンサート、PTA、子ども会。そして現在は「おだわら輝く女性のネットワーク」の活動。とにかく、子供たちが小さいころからどんどん外へ出て、ほとんどうちにいなかったんです。私の中にはいつも「母親としてだけでなく、一個の人間として輝きたい」という思いがありましたから。大変でも積極的に社会参加を続け、私が学んできたこ

うちの子育ては夫婦での話し合いが基本。夫婦が仲良くするのが一番大切だと思います。夫婦関係がうまくいってないと、子供たちがガタガタつとくる。このころは、子供より主人の方に目を向けていけば間違いないという気がしています。



遠藤豊子さん

“おだわら輝く女性のネットワーク”代表の遠藤さんは、高2、中3の男子と小3の女の子の母。一個の人間として輝きを失うことなく、いつも社会と向き合ってきた遠藤さんの生き方は、「女性の社会参加と子育ての両立」の実践ともいえるそうです。

一個の人間として自分が輝いていくこと。それが子供たちの成長にもいい影響をもたらし続けてくれると思っています。

夫婦関係がうまくいってれば、
子育てもうまくいく
そう信じています。

とは、必ず何かのかたちで子供たちに伝えることができると思っています。だから、子供たちのためにも、外へ出て、積極的に学び続けることはとても大切であり、これからもそうしていきたいと思っています。それから、小田原のまちと子育てについてですが、「小田原は子育てにやさしくない」と言う人もいますが、でも、保育園の数が多いことや延長保育の充実、放課後児童クラブへの積極的な考えがあることなど、優れている点もたくさんあるんです。だから、施設や制度の不備を嘆いているだけでなく、お母さんたちには、まず、小田原のすばらしい点をきちんと認識していただきたいですね。そして、よくない点に気づいたときには「どうしたらよくなるのか」を考え、自分たちから改善するための行動を起こしてほしいと思います。



加藤幸枝さん

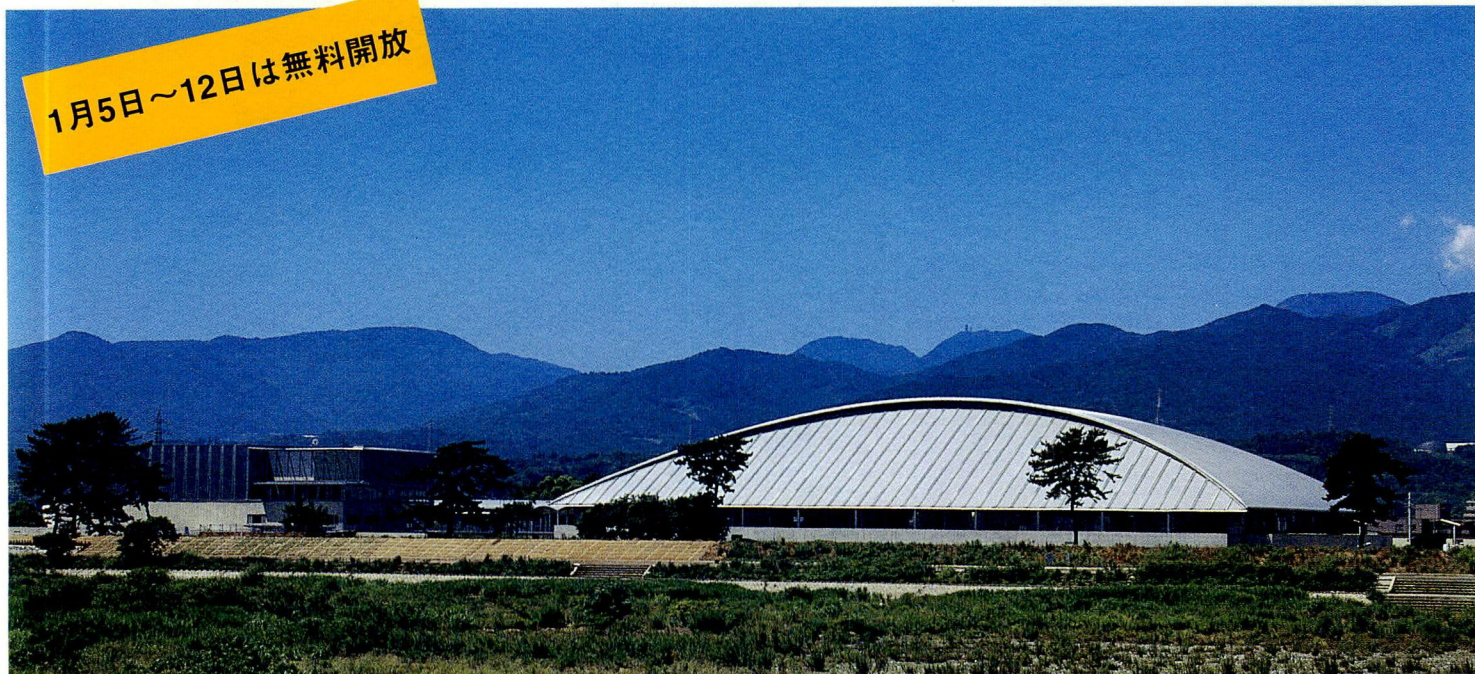
中3の長女を筆頭に中1、小5、小3、5歳の2男3女を育てる加藤家は、家族7人一緒に映画のビデオを観て感動を分かち合うという仲良い家族です。夫婦で手打ちそば屋を切り盛りしながら、子育てにも手を抜かない。そんな両親の姿を見ながら子供たちはたくましく育っています。

主人は店の切り盛りで忙しいのに、時間をやりくりして子供たちのことをすぐく考えてくれてるんです。子供に問題があれば、店を休んでも学校へ行くし。子供たちをしかるときはめっちゃくちやしかるけど、そんなときも頭ごなしじゃない。「ちょっとおかしくないか」という感じで、じっくり話す。その繰り返しで、子供たちが父親を信頼するようになりましたね。子供って、親のことをよく見てるんですよ。だから自分自身を磨けば子供もついてきてくれます。今、私が学校の役員会や子供会にも積極的に参加して、たくさんの人たちの話を聞いたり、いろんな経験をすることも、子供たちにもいい影響を与えてるんじゃないでしょうか。加藤 勲さん(夫) 店をやっているうちに人への接し方も分かってきた。頭ごなしにしかれば従業員は辞めちゃうでしょ。言うタイミングってあるよね。子供も同じ。私はいつも子供の精神状態を見る。でも、子供は子供でこっちの精神状態読んでもね。お父さんは単純だから、うまく立ててればおいしいもの食べに連れてってくれるなんて笑。

全国屈指の大きさ 総合文化体育館 小田原アリーナ完成

1月16日から一般利用開始 12月16日予約受付開始

1月5日～12日は無料開放



お待たせしました。「小田原市総合文化体育館・小田原アリーナ」がついに完成しました。

バスケットボールコートが4面もとれるメインアリーナは、日本でも屈指の規模。

なんと、一般的な体育館が4つも集まった大きさです。

12月に完成・オープン記念イベントを行った後、皆さんには1月からご利用いただけます。

新しいスポーツと文化の振興の場、小田原の新しいシンボルとしてぜひご利用ください。

小田原アリーナでは、平成10年に開かれる「かながわ・ゆめ国体」のバスケットボール競技（少年男子）が行われます。

施設内容

- ・メインアリーナ
- ・バスケットボールコートで4面
- ・サブアリーナ
- ・バスケットボールコートで1面
- ・フィットネススタジオ
- ・トレーニングルーム
- ・研修室
- ・大会議室・小会議室
- ・応接室
- ・選手控室
- ・スポーツサウナ

■小田原アリーナの特徴

その1 小田原ちようちん

小田原アリーナは「小田原ちようちん」をイメージしてつくられました。

夜になると、館内照明の灯が外に漏れ、自らをライトアップ。酒匂川のほとりに大きな小田原ちようちんが浮かび上がります。小田原アリーナは、新しい小田原のランドマークとしても活躍しそうです。

その2 自然光

メインアリーナ部分の屋根には、大きなスリットが入り、壁面にはガラスブロックがたくさん使われています。また、床にも比較的颜色の白い木が使われているので、天気の良い昼間には、外から差し込む自然の光で館内はいっぱいになります。

照明とは違うやわらかな暖かい光の中でも、スポーツなどを楽しめるのが、小田原アリーナの大きな特徴です。

その3 全国でも屈指の大きさ

メインアリーナはバスケットボールコートで4面がゆつたりとれる広さ。全国でも屈指の規模です。

その4 3548席

メインアリーナの観客席は固定式の2624席に加え、移動式（ロールバック）が924席、合計3548席もあります。3000人も前のでのコンサートやスポーツイベント、そして講演会などの文化的なイベントにも、十分対応できます。

その5 ちよつとした大会にも

メインアリーナとは別にサブアリーナもあります。バスケットボールコートなら1面、バレーボールコートなら2面、バドミントンコートなら4面がとれ、観客席も120席あります。ちよつとした大会に使うのにとっても便利です。

なお、サブアリーナは、普段は卓球やバドミントンなど、個人使用の場として運営していく予定です。

その6 フィットネスやサウナも

1周300mのランニングコースやフィットネススタジオ、トレーニングルームも設置されています。汗をかいたら、気持ちよく流せるスポーツサウナもあります。

また、大小会議室や視聴覚設備を備えた研修室もあります。

その7 お茶は富士山を眺めて

3階のティールラウンジからはすぐ目の前に酒匂川を、天気の良い日には富士山を眺められます。くつろいだひとときをどうぞ。

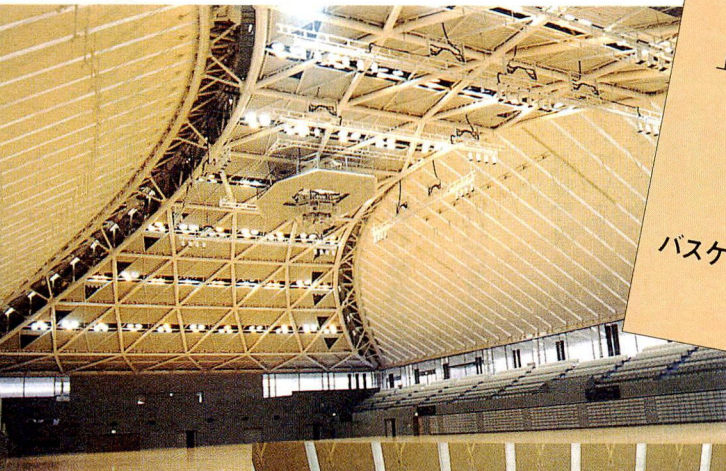
ランニングコース



1階ラウンジ

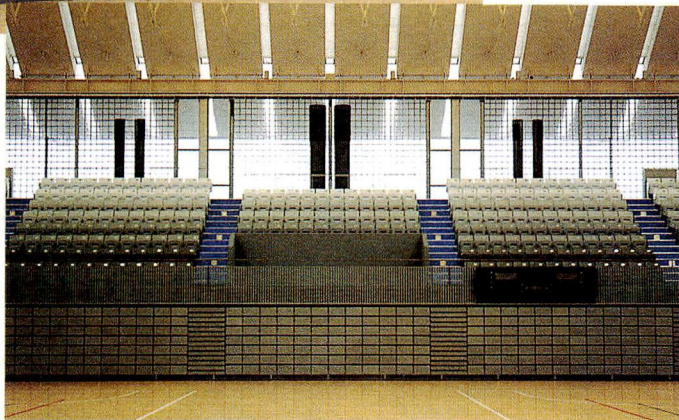


**■ちよつと気になる
近くの施設**
小田原アリーナのすぐ近くにある東富水小学校南側に造られているのは、平成9年6月に完成予定の(仮称)小田原市庭球場です。16面あるテニスコートは、砂入り人工芝で半分の8面に夜間照明が設置され、硬式テニス・ソフトテニスのどちらでも利用できます。



メインアリーナ

■体育課が小田原アリーナに移転
今までは市役所で行っていた体育施設の予約や利用手続きは、12月から小田原アリーナにお申し込みください。



メインアリーナ

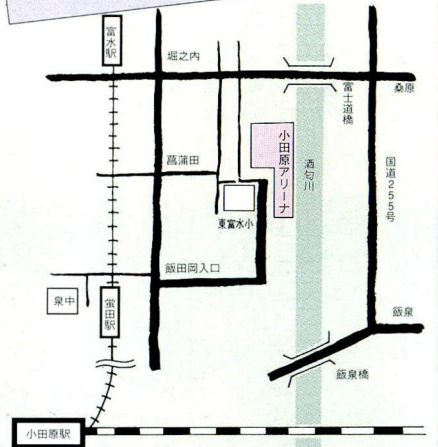
一般見学会
12月14日(土)・15日(日)
午前10時～午後3時
上ばき持参・下駄箱使用不可

無料開放
1月5日(日)～12日(日)

成人式
1月15日(祝)

**バスケットボール日本リーグ
公式戦**
1月26日(日)

……完成記念イベント……
小田原地区ミニバスケットボール大会
日時 12月23日(祝) 午後から
詳しくは12月15日号で



★★予約方法★★

1月16日(休)から一般利用開始
予約受付は12月16日(月)から

- 使用日の1か月前から予約受付。
- 月曜日(休館日)を除く日の午前9時～午後9時30分に受付
- ※12月中は、月～金曜日の午前8時30分～午後5時に受付(祝日は除く)
- アリーナに電話または直接お越しください。
- トレーニングルーム、スポーツサウナ、サブアリーナの個人使用のときは、予約なしで直接お越しください。2時間単位でお貸しします。

■交通
小田急線富水駅、蛸田駅から徒歩15分

■概要
所在地 小田原市中曽根263
開館時間 午前9時～午後9時30分
休館日 月曜日・年末年始
駐車場 約270台
☎小田原アリーナ ☎33-1144(☎754)

料金表		午前9時 ～正午	午後1時 ～午後5時	午後6時 ～午後9時 30分	午前9時 ～午後5時	午後1時 ～午後9時 30分	午前9時 ～午後9時 30分
メインアリーナ	4分の1面	円 2,100 (2,400)	円 2,800 (3,200)	円 2,450 (2,800)	円 5,600 (6,400)	円 5,950 (6,800)	円 8,750 (10,000)
	2分の1面	4,200 (4,800)	5,600 (6,400)	4,900 (5,600)	11,200 (12,800)	11,900 (13,600)	17,500 (20,000)
	4分の3面	6,300 (7,200)	8,400 (9,600)	7,350 (8,400)	16,800 (19,200)	17,850 (20,400)	26,250 (30,000)
	全面	8,400 (9,600)	11,200 (12,800)	9,800 (11,200)	22,400 (25,600)	23,800 (27,200)	35,000 (40,000)
サブアリーナ	2,100 (2,400)	2,800 (3,200)	2,450 (2,800)	5,600 (6,400)	5,950 (6,800)	8,750 (10,000)	
フィットネススタジオ	2,100	2,800	2,450	5,600	5,950	8,750	
研修室	2,100	2,800	2,450	5,600	5,950	8,750	
大会議室	1,500	2,000	1,750	4,000	4,250	6,250	
小会議室	.900	1,200	1,050	2,400	2,550	3,750	
応接室	3,000	4,000	3,500	8,000	8,500	12,500	
選手控室	600	800	700	1,600	1,700	2,500	

()内は土・日・祝日の料金。メインアリーナ・サブアリーナでの使用は、この料金の他に、照明料や器具使用料などが必要なこともあります。展示会、興業などでは料金が表と異なります。お問い合わせください。

個人使用料		金額	
区分		1人1回	利用回数券(11回分)
サブアリーナ及び トレーニングルーム	15歳以上の者 (中学生を除く。)	円 300	円 3,000
	小学生及び中学生	100	1,000
スポーツサウナ		500	5,000

■無料開放 1月5日～12日
バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、インデ

ル、エアカなどが楽しめます。個人、グループでお越しください。なお、大会などでの利用はできません。詳しくは、改めてお知らせします。

『変わりゆくミカン畑』 みかん減反跡地開発事業

この時期、小田原のみかん畑は鮮やかなオレンジ色に染まり、すばらしい風景を作り出しています。

しかし、その一方で昭和63年にオレンジの輸入自由化が決定してからは、全国的のみかん畑の減反が進められ、小田原市内でも約260ヘクタールの畑が減反されました。そこで、この跡地を有効に利用しようと市内5か所で開発事業が計画されました。

ここでは、この開発事業の概要と現在の状況をご紹介します。

小竹地区

周辺の自然環境と調和した複合型の開発をめざします。約50ヘクタールの土地を、土地区画整理事業により工業用地や住宅用地、スポーツ・レクリエーション用地、農業用地として整備する計画です。

また、この事業は工業施設と住宅整備とが連携した新しいタイプの市街地形成をめざします。

今後は、地権者や関係者とさらに検討を重ねながら、事業を進めていきます。

羽根尾地区

市の東部、橋地域の曾我丘陵にあり、相模湾を一望する風光明媚な土地約30・3ヘクタールを、土地区画整理事業により工業団地として整備します。

ここでは、『自然と人間の共生』を合言葉に、みどり豊かな環境に配慮した公害のない企業を誘致します。すでに事業主体の羽根尾土

地区画整理組合により事業が始められています。幹線道路は幅16・5メートルで、南北を結ぶ補助幹線道路などは、それぞれ歩車道が分離される計画で進められます。

また計画地の中央にはコミュニティゾーンを設け、憩いの場や横穴古墳の史跡にふれる公園、公益施設などを設置します。

完成すれば職住近接の雇用場が創設され、地域の方々の期待に応えられます。完成は平成11年をめざしています。

石橋・米神地区

石橋・米神地区の約18ヘクタールの敷地に、片浦ミュージアムシティ(株)が美術館などの文化施設を、また東海旅客鉄道(株)が研修施設を建設する計画でしたが、経済情勢の変化などの理由で進展の目途が立っていません。

すでに5年を経過している状況などから地権者の皆さんは、いったん土地などの売買契約を解除し

ようとしています。しかし契約解除のための訴訟に必要な仮処分には多額の保証金を供託しなければならなかったため、その資金の貸付を市に要望しました。そこで市はこれまでの事業の経過や農業経営者の救済から、このための貸付金1億4800万円

を9月議会の補正予算に計上し、可決されました。今後この問題が解決された場合には、改めて地権者の皆さんとも話し合いながらその後の事業について考えていきます。

根府川地区

約24ヘクタールの敷地に、労働省の特殊法人の雇用促進事業団と労働福祉事業団が「勤労者リフレッシュセンター(仮称)」(愛称「スパウザ小田原」)を建設中です。

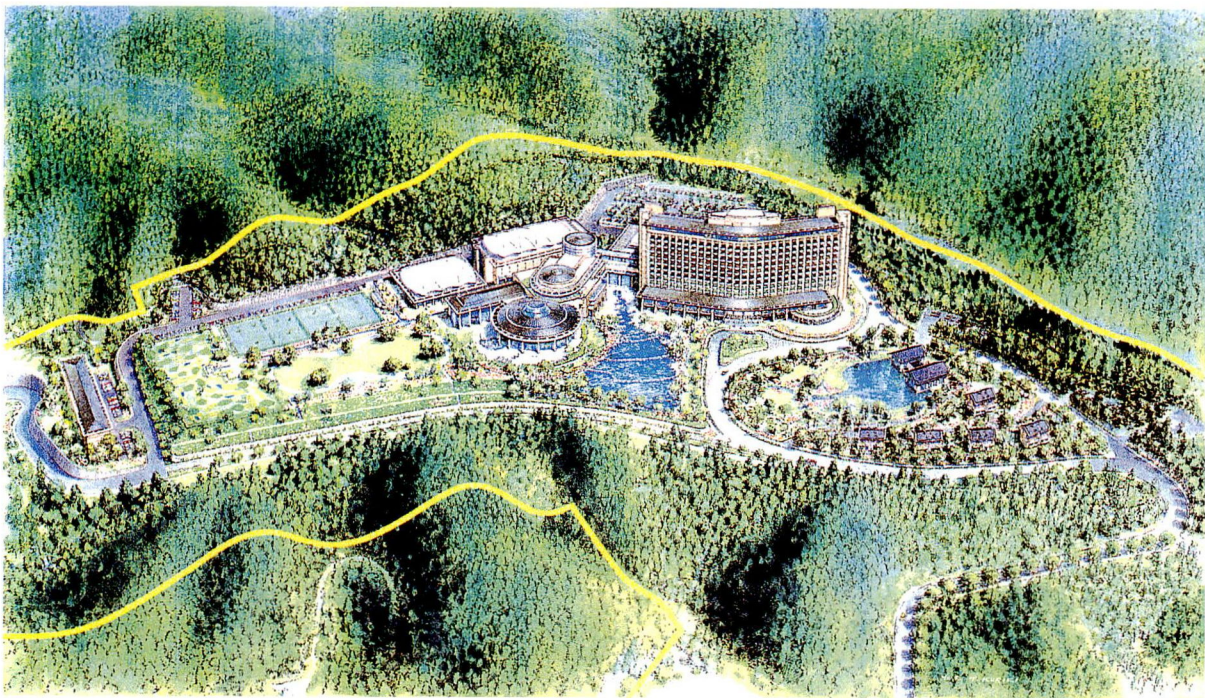
この施設は、健康チェックからストレスや疲労の解消まで、働く人々の「心と体のリフレッシュ」をテーマにつくられます。

12階建ての本館棟には、宿泊施設としてシングル84室・ツイン73室の客室、健康チェックのための設備、スカイラウンジ、ボーリング場などがつくられます。また温泉を利用し11種類の温浴が楽しめるバーデ棟や、いろいろなスポーツが楽しめる体育館、そのほか屋外レストラン、陶芸工房、コテージ、散策路などが整備されます。来年10月に完成し、平成10年3月ごろから皆さんにご利用いただける予定です。

江之浦地区

約3・6ヘクタールの敷地に、(株)ホテルニュー塩原がホテルを建設します。まだ工事には着手していませんが、これから開発許可を取り、進入道路の整備、敷地造成工事、建築工事へと進んでいきます。

図 政策調整室 ☎331307



根府川地区に建設中の「勤労者リフレッシュセンター(仮称)」

歴史を感じるまちづくり 整備が進む 小田原城跡

小田原市民のシンボルである小田原城は、国民共有の歴史的遺産として文化財保護法で国の史跡に指定され、その保存が図られています。

こうした小田原城の素晴らしい歴史的遺産を後世に伝えていくばかりでなく、その価値をより多くの人たちと分かち合えるように、市では小田原城跡の整備事業を進めています。

史跡小田原城跡本丸・二の丸整備基本構想とは？

市では、文化庁や県の教育委員会と協議を重ねながら小田原城の保存と活用の方針をとりまとめ、平成5年に「史跡小田原城跡本丸・二の丸整備基本構想」を公表しました。

この基本構想では、計画を短期と長期に分けています。

整備事業の内容は？

短期計画は、平成16年度までに江戸時代の小田原城の大手筋を中心とする整備を進めていく計画です。つまり、警察署前の土橋（通称がね橋）から復原中の銅門（通称二の丸へ入り、常盤木門を

抜けて本丸へと至る、お城本来のルートがよみがえるわけです。

平成17年度以降も、長期計画としてそのほかの部分の整備が控えています。が、いずれも発掘調査をしてその成果を盛り込みながら、堀や石垣のほか、一部の門や櫓の復原を進めていく予定です。

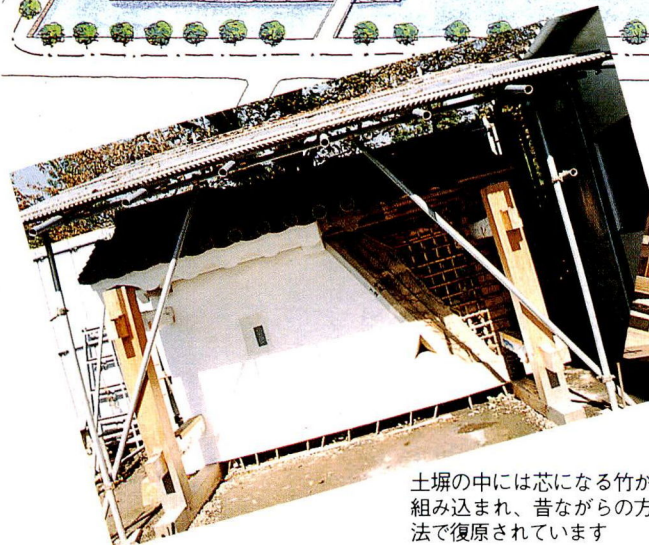
このように小田原城の整備は大変長い期間にわたりますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

銅門の復原工事が進行中

こうした考え方に基づいて現在事業を進めているのが銅門の復原事業です。昨年度までに櫓形や櫓台の石積みが完成し、現在は、櫓門部分の建築に取りかかっています。

史跡小田原城跡本丸・二の丸整備基本構想鳥観図

江戸時代の小田原城の姿がだれにでも分かるように、堀や石垣などの復原を進めていきます



土堀の中には芯になる竹が組み込まれ、昔ながらの方法で復原されています



銅門の復原工事がよいよ櫓門部分の建築を開始

銅門が完成することで、小田原城の堂々たる風景がよみがえります。市では、このような復原事業を通して、小田原城のかつての偉容を楽しんでいただきながら、当時の人々が育んだ城づくりの技術や、私たちが生きる現在へと至る壮大な歴史の流れを感じていただきたいと思います。

岡文化財保護課 ☎ 331718

科学技術は社会をどう変える？ 来世紀の小田原はどんなまちに？

ゲスト・東京大学名誉教授、超電導工学研究所所長

田中昭二さん

聞き手・小田原市長

小澤良明

21世紀の国力を決めるとさえ言われる最先端テクノロジー「高温超電導技術」の第一人者であり、科学者・教育者として世界中を飛び回っている田中昭二さんが、講演のために久しぶりに故郷・小田原市を訪れました。

田中さんには平成6年から「小田原・城下町大使」を務めていただいております。小田原のイメージアップにもご協力いただいております。その田中さんに「小さな世界都市」をめざし、まちづくりを進める小澤市長がインタビュー。小田原の魅力について、科学技術がもたらす社会の変革について、話題は大きく広がります。

懐かしい海と山が 織り成す風景

小澤 田中さんは小田原市の南町のご出身ですが、小さなころの思い出にはどんなものがありますか。

田中 私は、第一尋常高等小学校（今の三の丸・旧本町小学校）から旧制小田原中学校（今の小田原高校）に進んだんですが、子供のころは遊び放題で楽しかったですね。海が近かったので朝から晩まで泳ぎまくっていいね。当然、夏休みの宿題なんか惨憺たるものでしたよ（笑）。

小澤 子供のころ泳いでいらしたあたりは今も変わっていませんか。

田中 ときどき行ってみるんですが、今で

T A L K



田中昭二さん

1927年（昭和2年）小田原市生まれ。55年東京大学大学院応用物理課程修了後、同大学工学部講師、同助教授・教授を経て、'88年に同大学名誉教授、超電導工学研究所所長に就任。エレクトロニクスの分野で数々の業績を挙げ、'86年には、IBMチューリッヒ研究所のペドノルツとミュラー両氏による高温超電導についての報告を明確に実証し、全世界的な高温超電導研究フィーバーの火付け役に。新材料の開発、新しい材料処理技術の発表など超電導工学技術の研究開発に大きなインパクトを与えてきた。また、多くの研究者、技術者を育成し、産・官・学界の先導的役割を果たしている。'90年紫綬褒章を受章。

も目をつぶって歩けるような。昔は家から海まで海水パンツで行ってたもんです。砂浜も広がったしね。朝、海岸に行くくと、地曳網を引いていて、手伝うとザルに雑魚をくれた。小田原を懐かしく思い出すのはあの海岸とそこら見た箱根の山の風景ですね。今回、車で来てみたら工場がずいぶん目につくようになりました。昔は富士フイルムの工場があつたくらいでしたが。小澤 酒匂川は水質も水量も申し分ないし空気がきれいだから、一時期、流域に化学工業を中心によくの企業を誘致したんです。もともと城下町ならではの地場産業があつて、いろんな産業がバランスよく配置されています。それをどう発展させるかというのはなかなか難しい問題です。

田中 超電導の研究も、成熟した産業を革新するという目的もあり、同じような難しさがありますね。

超電導が 21世紀の扉を開く

小澤 初めて高温超電導が発表されたときは世界中が沸き返りましたね。すぐにでも世の中が変貌するようなフィーバーだったのですが、その後報道が少なくなったところをみると、やっぱり難題がありましたか。

田中 それはもう難題の連続。基礎研究は時間がかかるものなんです。高温超電導の開発騒動が86年でしたから今年で10年。やっと材料に目途がついた段階です。あと5年か10年の間にはなんとか実用化しようとかんばっています。

小澤 超電導が実用化できたら、社会のどんな分野で変化が起こるんでしょうか。田中 まずエネルギーですね。電力の蓄積が可能になります。発電のための付帯設備も簡素化されるので、その経済効果も大きいですね。超電導による省エネはケタが違います。それこそ四国全体の電力が浮くようなスケールの大きな話なので、それに対応するしつかりとした技術をもたなければなりません。急には実現できませんが、基礎研究は着々と進んでいます。また環境問題にも貢献できます。超電導で強い磁場を作ること、湖の汚染の元になる藻だけを効率よく集めることができるんです。赤

December 1, 1996 No.688



潮対策などでもできそうですしね。
小澤 エネルギーに環境といえは、地球レベルで今一番考えなくてはならない問題ですね。超電導でその突破口が見つかるというのは素晴らしいですね。小田原市でも、建設省と環境庁、県などがいっしょになって低公害車の研究会を作って、電気自動車や天然ガス車などの研究を進めているんです。炭酸ガスの排出を抑えたいいなまちをつくるためのモデル都市としての活動なんです。おっしゃるように革新的なことを進めるのは大変ですね。

田中 既存技術を乗り越えるには相当の努力が必要です。しかし日本はそれをやらなければならぬんです。車にしろ鉄鋼にしろ成熟した基礎産業を革新して、競争力をもう一段強化する必要がある。研究に10年かかりましたが、材料技術的には進歩して、材料を自由にコントロールできるようにになりました。いよいよそれを使って何をするかという段階なんです。

SPECIAL



小田原市長 小澤良明

世界を変革する 新しい産業が生まれる

小澤 目に見えないけれど、底辺ではすごい変化が起きてくるわけですね。若い人の理科離れが進んでいるといわれますが、いまこそ科学技術の分野に若い人の力が必要なんです。

田中 そうなんです。科学技術の歴史が浅い日本は、自分で新しい産業を作り出したことがない。私たちは今、新しい産業をどうやって作るかと生みの苦しみを経験しているんです。科学技術はまだまだ発展しています。産業を生まれてから見られるチャンスはそうないんですよ。今は苦勞の連続で、売れない、マーケットはないとそんな話ばかりですが、実用化できれば、その科学的、技術的、経済的、社会的な影響は計り知れないですよ。

田中 どこかでブレイクスルーするわけですね。超電導はさまざまな分野で実用化が研究されていますが、すでに皆さんの目に

触れているのは医学の分野。今話題のMRI（核磁気共鳴映像法）も超電導なんです。

人体が発する弱い磁波を分析し、人体の働きを見るものですが、脳の働きも、心臓の血液の流れも、がん細胞も人体に触らないで見えます。脳の断層映像などは、鮮やかすぎて怖いくらいですよ。高齢者の医療に超電導は大きな貢献ができると思いますよ。

小澤 磁波となると、地軸の動きを見て、地震の探査ができるんじゃないですか？

田中 ええ。地震予知とか、磁気探考などもこれからのテーマです。それが即、地震予知とはいきませんが、地軸の変動は確実にキャッチできます。

小澤 昔は冷却のために大きな装置が必要だったのが、高温超電導技術の開発によって、いろんな分野に実用化の可能性が出てきたわけですね。

田中 そうです。冷凍機もすごく小さくなって、スイッチをいれると簡単に冷えます。こうした周辺技術が非常に発達したんです。

小澤 電気自動車にもよさそうですね。
田中 バスなんかにはいいのではありませんか？

ます。それから高周波のレーザーになる。自動車の安全運転のレーダーはできるだろうと。

城下町小田原の魅力を引き出す

小澤 お話を伺いますと、福祉・医療、エネルギー・環境、防災：地震のことまで含めて、地方自治体がまさに直面している大きなテーマに超電導技術は大きな力になりますね。

田中 湖を持っている県からの問い合わせが非常に多いですね。携帯電話のエリア外である地方の市町村から、超電導で中継基地ができるのではという相談もいただきます。

小澤 時間はかかるでしょうが、ぜひひとつ取り組んでいただきたいですね。着実に地域に根づく技術を生み出して、雇用促進や空洞化対策を行っていかねばなりません。最後になりましたが、田中さんからみた小田原の魅力とは？

田中 箱根の外輪山から山すそを下りていくと平野と海が広がり、砂浜があつて磯がある。なかなかありそうでない素晴らしい景観です。そこに城下町として築いてきた独自の文化がある。美しい自然環境と歴史文化。これが小田原の魅力だし、それらを大切にしたいですね。

小澤 小田原のまちづくりのコンセプトは「小さな世界都市」なんです。小さくても小田原の持っている財産を生かせば必ず世界の小田原になれるとそうはっばをかけているんです。田中さんのお話の中にもありますが、たくさんの財産を生かして、小田原ならではの個性を追求したまちをつくりたいと考えています。

田中 ぜひがんばってください。

文藝雑記(一期一会) 8 小田原文学館顧問・歌人 鈴木貫介

伊豆「大島」

冬の日の砂原の途
靴のおとかそけかりけり
岬まで遠しといふ乎
兵ひとり其處に自決す

伊豆の大島へ終戦直後旅行したわたしは、二日目の午後火煙を噴き上げる三原山目指して登攀をこころみた。登山道はない。元村から四〇度の勾配の山肌を一直線にのぼって行つた。途中、椅子机木箱類が無数に放り出されていてこれらの障礙物をくぐりぬけるのに餘計體力を消耗した。敗戦で車の放棄した雑多な汁器備品は其後、太平洋の風霜に晒されていてもま

だ其時分結構新しいものに見えた。これら無慚な軍用品に出會ふのもこのように道なき道を辿る風狂の秘話にして止め置くべき事柄ではなかつたか。急峻な火山の南面を這上るのは決してたのしい行程ではなかつたが、しかし下から仰ぎ上から見おろした一樹の椿にまだ数へるほどに咲いた花芯の黄の花粉に嘴を染めて目白鳥がひとつこの稀な通行人を見てくれてゐた。わたしは喘ぎながらも何度かこのような樹下に辿りつき腰をおろした。いや、枯草の中に身を投じて休息した。人つ子ひとりやつて來るところではなかつた。やがて砂



漠の一隅に足を踏み入れたが廣大な天地に生身の人間としてただひとり佇立してゐるおそろしさに身振ひした。冬の日が早く暮れようとして周囲の樹木はやうやく色を

てしまったのだと言はれた。成程三原山の砂漠を脊に負ひ前面には太平洋の廣大無邊な荒潮の起伏、周囲は低い樹木の中に椿の花が点在してさながら山中のたたずまい

の自慢は、8月8日の酒匂川の花火大会です。この日、酒匂は、小田原の主役です。夜空に歓声があがると、なぜか、とてもうれしくなります。

失ひひとりるに薄暗い山氣の底に沈んでゐる風景は廓寥として、この世の外のものに思へた。わたしは、この場所から少し下つた道のほとりに「湯場」といふ一軒の湯治場のあることを知つていた。その晩「湯場」にとめてもらふ。山小舎風の旅舎の夫妻はわたしより十ばかり年上のやうに思へた。戦時中東京からここに疎開して、そのまま居つてしまつたのだと言はれた。成程三原山の砂漠を脊に負ひ前面には太平洋の廣大無邊な荒潮の起伏、周囲は低い樹木の中に椿の花が点在してさながら山中のたたずまい



海からの使者ユリカモメが飛び交う橋を渡ると、私のまち酒匂に

到着です。国道1号に沿い、目の前には相模湾、かつて酒匂は、ブリ漁の盛んな漁師町だったそうです。しかし、魚が獲れなくなり、西湘バイパスが海岸線を横切り、酒匂つ子の自慢であった砂浜もなくなり、今はテトラポットの海となつてしまいました。父が子どもころまでは、幅100メートルもある松林をかけぬけ、焼けつく砂浜で野球をし、走り回つたそうです。砂浜で鍛えた足腰が、酒匂

つ子の運動の強さの秘密兵器だったとのことです。この話を聞き、私は、とてもうらやましく思いました。砂浜の再生、松の木の保存、私たち酒匂つ子への大きな宿題だと思ひます。

さて、最近の酒匂周辺のまちの変化には、目を見張るものがあります。かつての空地や工場が、文化公共施設、大手スーパーへと姿を変え、ぞくぞくと集まってきました。そして、何といつても一番

親子4代酒匂つ子 山口和子



お答え
この市役所の前の広場については、皆さんから「公園のようにして自由に出入りできるように」とか、「木を植えて」といったご要望をいただきました。

こんにちは 市長さん 市民の声の直通便

市役所の前は、数年前にコンクリートをはがして木が植えられました。今も工事をしていいますが、広場のままがよいと思います。(30代女性)



都市化が進み、街中が次第にコンクリートに覆われていく中で、自然にふれあえる場所を子供たちにも体験してもらい、その中から自然の恵みや環境の大切さを肌で感じていただきたいという願いもあり、平成6年度から順次改修工事を行っています。

改修にあたっては、自由に出入りできる小さな雑木林をイメージしました。また、自然の雑木林を散策しながら沢の水に親しむかのように、子供たちが水に親しめるようになっています。

なお、水の中に子供が落ちてしまい危険ではないかとのこと指摘もいただいておりますが、水深を浅くするなどの配慮をしています。

この工事は今年度で完了します。完成しましたら、街の中にある自然を楽しんでいただきたいと思います。

園管財契約課 ☎ 33 13321

市民工房編集室



集まれ市民、やるぞ瓦版!

皆さんこんにちは。私たちは「まちづくり市民工房21」と申します。

私たちは今年の夏、青森や秋田のねぶたを模した「ちょうちん山車」というのを作って、ちょうちん夏まつりに参加したり、みなとまつりのとき港を大きな釣り堀にして、ルアー釣り大会を催しました。参考までに「ちょうちん山車」は比較的安い費用で立派なものが作れますし、釣り大会のとき釣り堀を作るのに使った「でかいネット」は無料で貸し出しますので、ちょうちん山車の作り方や予算に興味のある方、釣り大会をしたい方はぜひお問い合わせください。

私たちは、これらイベントを通して「多くの人に参加してもらい楽しんでほしい、いろいろな人の情報や意見を取り入れ私たち以外の人も企画・運営に加わってほしい」つまり、「多くの機会でも市民参加を呼びかけたい。小さなことでも伝えたい、また伝えてほしい」と考えています。

その方法の1つとして、当初は広報おだわらの紙面を利用して、市民の皆さんが持っている情報を紹介したり、市民の意見交換を活発にするきっかけをつくろうとしていましたが、広報おだわらではたくさんの記事が載せられないなどの問題がありました。

そこで、思いついたのが『瓦版』というミニコミ誌みたいなものを作ることです。この瓦版は、市民が気軽に参加、情報交換をして、自分の知っている小田原をほかの人たちに伝えること、逆に自分が知らない小田原を発見できるようにすることを目的としています。将来は、ほかの方法もプラスして市民の意見のやりとりが活発になるように発展させるつもりです。

じゃあどうやって進めていこうかと悩んでいるときにヒントを得たのがFMヨコハマの「ザ・ボイス」という番組の形式です。毎回テーマをしばって皆さんのさまざまな声を集め

たり、それについての意見を求めるというものです。また、テーマは堅いものでなく例えば「よく遊びに行く場所」だとか「あなたの周りのユニークな人」みたいな軽いノリのを予定しています。ただ、そのなかで教育だとか環境問題といったシリアスな内容の記事も載せようと思います。

いつから始めるとか、どうやって皆さんにお届けするかなど具体的なことはまだ何も決まっていますが、この企画を進めるにあたって、市民の皆さんの中に「こんなテーマがおもしろい」とか「こういう内容を取り上げたらどうか」といった意見がありましたらお気軽にご連絡ください。

連絡先

まちづくり市民工房21

田島 ☎ 48-4743 FAX22-2589



介護休業制度の早期導入を

介護休業制度が法制化され10月から施行されています。この改正で、事業主はできる限り早く、介護休業法に沿った介護休業制度を設けるよう求められています。

なお、平成11年4月からは、すべての事業所への導入が義務化されます。

■制度の概要

○対象となる家族の範囲は

- ①配偶者②父母③子④配偶者の父母⑤祖父母（同居と扶養）⑥兄弟姉妹（同居と扶養）⑦孫（同居と扶養）

○法律では、連続した3か月以内の期間を取得する方法と、次のような勤務時間短縮などの措置のうちいずれかを設けることになっています。

- ①短時間勤務の制度②フレックスタイム制③始・終業時刻の繰上げ・繰下げ④労働者が利用する介護サービスの費用助成その他これに準ずる制度

○法に沿った介護休業制度を導入し、その制度で、労働者に対して2週間以上介護休業を取らせたととき、事業主に、介護休業制度導入奨励金を支給

・初めて介護休業取得者が生じたとき

中小企業75万円 大企業55万円

・2人目以降のとき（1人につき）

中小企業20万円 大企業10万円

☎労働省神奈川婦人少年室 ☎ 045 - 211-7380

白鷗中3年 前田深雪

・「見た目と中身」

千代中3年 吉岡亜矢子

・「素直になれなくて」

青少年指導員協議会推薦 木村秀暁

※主張をまとめた冊子を青少年課（市役所5階）で配布しています。

☎青少年指導員協議会（青少年課） ☎ 33-1723

青少年育成功労者等表彰

11月16日(土)、市青少年問題協議会長から表彰されました。

○育成功労者

神田英一（寿町） 剣持美和子（小八幡）

○青少年育成推進者

田中晋次（栄町） 小澤方譽（栄町）

天野静江（栄町） 柏木優司（桑原）

一寸木英雄（扇町） 磯崎一子（酒匂）

野地賢二（田島） 松本和子（早川）

瀬戸忠（南鴨宮） 鈴木敏雄（別堀）

石綿美智子（久野） 清田貞子（扇町）

亀卦川笑子（前川） 釘持和明（曾比）

柳川寿登（早川）

○善行少年

石田博之（桑原）

○優良青少年団体

日本ボーイスカウト小田原地区第2団

東富水区蓮正寺第1子ども会

下中学区明沢子ども会

国府津学区丹沢子ども会

御幸町おはやし会

☎青少年課 ☎ 33-1723

中学生の主張発表

11月9日(土)、中央公民館で開催。市内中学の代表13人と市青少年指導員協議会推薦の1人が、大人への提言、将来への希望などを発表。発表者は青少年指導員協議会などから表彰されました。

・「生きるということ」

泉中3年 赤松茂利

・「世界は平等」

城南中3年 大西真理子

・「家族について」

片浦中3年 大塚秀和

・「人間の心の弱さが惹き起こす事」

酒匂中3年 加藤伸崇

・「中学校生活と自分」

鴨宮中3年 神谷啓之

・「“いじめ”について考える」

白山中3年 工藤愛

・「被害エイズ原告への手紙」

城北中2年 篠原遥

・「本当の勇者とは」

城山中3年 椿由貴

・「いじめを本気で考える」

国府津中2年 長谷川舞

・「リサイクルの大切さ」

橘中3年 林俊宏

・「水の汚染について考える」

相洋中3年 福田哲也

・「“ラ”抜き言葉と私」

かながわ・ゆめ国体 おだわら絵画コンクール

応募総数564点の中から、41点の入賞作品が決まりました。

小学生低学年の部

金賞 市川有斗（報徳小3年）

銀賞 近藤千夏（久野小3年）

小玉千咲（富水小2年）

銅賞 久我谷竜（東富水小3年）

鈴木智也（富水小2年）

曾我愛（桜井小2年）

長谷川英樹（富水小2年）

小学生高学年の部

金賞 関戸貴子（三の丸小6年）

市川亜湖（報徳小4年）

銀賞 穂坂友見（下曾我小6年）

下澤仁美（東富水小5年）

銅賞 柏木真季（下曾我小6年）

石黒裕介（報徳小4年）

中学生の部

金賞 井上真由美（城北中2年）

銀賞 木田勝久（城北中1年）

田中利哉（酒匂中2年）

銅賞 佐藤悠（白山中1年）

青木辰則（泉中2年）

岩本祐樹（泉中1年）

☎国体推進課 ☎ 33-1661

ごきごき家族



市民相談

December 12月

①一般相談	休日を除く毎日 午前9時～午後4時
②法律相談（予約制）	4日(水) 11日(水) 18日(水)・25日(水)
③税務相談	17日(火)
④宅地建物取引相談	26日(木)
⑤防災相談	16日(月)
※②～⑤の時間は午後1時30分～3時30分	
⑥心配ごと相談	9日(月)・24日(火) 午前10時～午後3時
⑦人権擁護相談	10日(火)・24日(火) 午後1時～3時
⑧行政苦情相談	19日(木) 午後1時～4時
⑨教育相談	6日(金)・20日(金)
⑩消費生活相談	6日(金)・13日(金) 20日(金)・27日(金)
※⑨⑩の時間は午前9時～午後4時	

問い合わせ
市民相談室

☎33-1383 (☎180)

お知らせ

農業委員会委員選挙人名簿 登載申請を

平成9年の農業委員会委員選挙人名簿を作ります。この選挙人名簿は、平成9年1月1日現在で登載される資格がある方の申請に基づいて作ります。

申請書は、農業委員会から農業嘱託員などを通じて、当てはまる方に配ります。

選挙人名簿に登載されていないと農業委員の選挙で投票することができません。また、リコールの請求もできません。

当てはまる方は、1月10日までに農業委員会に申請書をお持ちください。

資格のある方 市内に住所があり、満20歳（昭和52年4月1日までに生まれた方）以上で次に当てはまる方

- ①10アール以上の農地耕作業務を営む方
- ②①の耕作者の同居親族または配偶者で、耕作日数が年間おおむね60日以上の方
- ③10アール以上の農地を耕作する農業生産法人の組合員または社員で、耕作日数が年間おおむね60日以上の方

※選挙人名簿に登載されないと、市街化調整区域内に農家住宅などの新築、増築に必要な証明書が発行できません。

☎ 選挙管理委員会 ☎ 33-1741
農業委員会 ☎ 33-1748

人権週間 12月4日～10日

本市では法務大臣から委嘱された人権擁護委員が、名誉き損やプライバシーの侵害などの人権問題について、自宅で相談に応じています。また市民相談室でも毎月第2・第4火曜日に相談窓口を設けています。

人権擁護委員

- ・小林ふみ子 城山2-22-18 ☎ 34-5673
- ・和田武 小八幡3-18-7 ☎ 48-3412
- ・雨宮秀雄 板橋763-36 ☎ 24-1551
- ・神野一江 永塚302 ☎ 42-1422
- ・鈴木洋子 早川766 ☎ 24-1181
- ・柳川宣枝 本町3-3-12 ☎ 22-0538
- ・加藤義七 城山3-12-15 ☎ 22-9309
- ・古澤昭二 蓮正寺439 ☎ 36-2993
- ・小澤卓二 中村原369 ☎ 43-0183
- ・小川迪雄 城山1-23-2 ☎ 34-1443
- ・穂谷野賢治 南鴨宮1-5-37 ☎ 47-7697
- ・竹井貞雄 久野369 ☎ 34-8570
- ・釘持安男 曾比2375 ☎ 36-0193

☎ 市民相談室 ☎ 33-1383

不動産の変更届

田畑、山林を宅地などに地目変更したときや、家屋の新築、増築、取壊し（滅失）をした場合は、必ず1か月以内に登記所（横浜地方法務局小田原支局）に登記申請してください。申請しないと、固定資産が正しく課税されないことがあります。

■家屋を取り壊したとき

建物滅失の登記を。取り壊した大工さんの証明または資産税課発行の家屋滅失証明書を添付してください。

■土地・家屋の売買・相続などをしたとき

所有権移転を。

■登記をしていない家屋を取り壊したとき

資産税課にご連絡ください。
※年末の法務局の登記事務は12月27日（金）まで。年末は大変混雑します。お早めに。

☎ 資産税課 ☎ 33-1361
横浜地方法務局小田原支局 ☎ 23-0181

住宅用地の申告は1月10日までに

住宅の敷地に使っている土地（住宅用地）と、それ以外の土地では固定資産税の計算方法がちがいます。次に該当する方は住宅用地の申告をしてください。

- ①平成9年1月1日現在、市内に住宅用地をもつ方。すでに住宅用地の申告をし、内容に変更のない方は必要ありません。
- ②平成8年1月1日現在は住宅用地だったが、平成9年1月1日現在、住宅用地でない土地をもつ方
- ③市内に住宅用地をもち、平成9年1月1日現在の同一画地内の住宅戸数が平成8年1月1日現在と異なっている方。

※申告用紙は資産税課（市役所2階）にあります。1月22日までに申告してください。

☎ 資産税課 ☎ 33-1365

建物を取り壊した方に

平成8年1月以後所有している建物（車庫や倉庫を含む）を取り壊したときは、翌年度から固定資産税と都市計画税が変わります。資産税課までご連絡ください。

☎ 資産税課 ☎ 33-1371

防災ハンドブックを配布



災害から自分や家族の身を守るため、日ごろから知っておきたい防災の知識や対策、国府津・松田断層の調査結果や簡単な耐震診断の方法、防災倉庫の中身なども紹介。12月1日号の広報小田原といっしょに各自治会を通じてお配りします。支所、連絡所などにもあります。

☎ 防災対策課 ☎ 33-1855

全国荣誉防犯銅賞を受賞

平成8年度全国防犯荣誉銅賞を小田原警察署管内民間防犯指導員協議会会長、添田易司さん（多古）が受賞。添田さんは昭和53年から民間防犯指導員として活躍。地域の防犯意識の高揚に成果をあげました。

☎ 地域づくり課 ☎ 33-1457

高齢者就職・雇用相談

対象 おおむね55歳以上の方

相談内容 就職相談・紹介

相談料 無料

高齢者を雇おうとする人の相談もどうぞ。

☎ 高齢者職業相談室 ☎ 32-1186

介護の相談は 在宅介護支援センターへ

在宅のねたきりのお年寄りや、痴ほうのあるお年寄りの介護者からの各種相談に、24時間対応しています。

在宅介護支援センター

- ・西湘老人ホーム（早川） ☎ 24-1181
- ・ルビーホーム（曾我光海） ☎ 42-1278
- ・潤生園（穴部） ☎ 35-9500

都市計画変更案の縦覧

第4回線引き見直しに伴う都市計画変更案（計画図の差し替えと是正を含む）をご覧になれます。ご意見のある方は、縦覧期間内に意見書を提出できます。なお、県知事決定分は、県都市部都市計画課でも縦覧しています。

縦覧場所 都市計画課（市役所6階）

12月10日（火）～24日（火）の縦覧

（午前8時30分～午後5時、土・日・祝日を除く）

○県知事決定分

- ・市街化区域及び市街化調整区域の変更
- ・用途地域の変更

○小田原市決定分

- ・防火地域及び準防火地域の変更
- ・土地区画整理促進区域の変更（東千代土地区画整理促進区域）
- ・土地区画整理促進区域の変更（狩川左岸北部土地区画整理促進区域）

1月7日（火）～21日（火）の縦覧

（午前8時30分～午後5時、土・日・祝日を除く）

○小田原市決定分

- ・生産緑地地区の変更

☎ 都市計画課 ☎ 33-1571



小田原競輪
周辺道路総合交通規制日

12月15日（日）～20日（金）

尊徳記念館の子供映画会

期日 12月14日(土)

時間

- ・ 1回目 午前10時～(9時50分開場)
- ・ 2回目 午後2時～(1時50分開場)

場所 尊徳記念館

プログラム(アニメ)

- ・ あしたぶたのひぶたじかん(40分)
- ・ ミッキーマウスの楽しい冬(10分)

定員 60人

入場料 無料

☎ 尊徳記念館 ☎ 36-2381

としょかんにんぎょうげきじょう

アマチュア人形劇団「ポッケ」と旭丘高等学校児童文化部の出演で、楽しいにんぎょうげきを上演します。

日時 12月15日(日) 午前10時30分～11時30分(10時開場)

場所 市立図書館

プログラム

- ・ だんごじぞう
- ・ おおきなかぶ
- ・ ブタ飼いとヒツジ飼
- ・ 子ども人形劇

入場料 無料

☎ 市立図書館 ☎ 24-1057

図書館こども映画会

時間 [A] [B]とも午後1時30分～(1時開場)

入場料 無料

☎ かもめ図書館 ☎ 49-7800

[A] かもめ図書館会場

場所 視聴覚ホール

定員 180人

プログラム(アニメ)

- ① 12月1日(日) おむすびころりん(10分)
くまのプーさんプーさんと虎(30分)
- ② 12月8日(日) きつねのしっぽ(17分)
ムーミン消えないおばけ(25分)
- ③ 12月14日(土) ガキ大将先生(児童劇48分)
- ④ 12月15日(日) 笠地蔵(19分)、那須疎水物語(20分)

[B] 市立図書館会場

場所 小劇場

定員 80人

プログラム(アニメ)

- 12月15日(日) はなたれこぞうさま(19分)
ミッキーマウスのメリークリスマス(26分)

年末の交通事故防止運動

12月11日～20日

○ ゆく年くる年みんな笑顔で交通安全

○ 飲んだら乗るな。乗るなら飲むな

市民生活課 ☎ 33-1853

スポーツ

各種スポーツ大会、講習会など

トレーニングルーム利用者講習会

スポーツ会館のトレーニング室を利用する方の講習会です。トレーニングルームは高校生以上が利用できます。

日時 12月14日(土) 午後1時30分～3時

12月18日(水) 午後6時30分～8時

1月11日(土) 午後1時30分～3時

場所 スポーツ会館

☎ スポーツ会館 ☎ 23-2465

小田原スキー選手権

日時 2月2日(日) 午前8時30分～午後2時

場所 野辺山スキー場

種目 大回転2本

参加料 3,000円

☎ 申込 1月21日(火)までに、スキー協会・高杉隆幸 ☎ 82-7308。なお、クラブ員は各クラブを通じて申し込みを

小田原城元旦マラソン

日時 1月1日(水)(小雨決行) 午前9時30分スタート

コース 小田原城址公園周辺の周回コース

種別 1部=5km(2周)、2部=7km(3周)、体力に応じて1周(1.8km)でも可。

参加料 1,000円(傷害保険料含)。参加者には完走証・参加賞があります。

☎ 申込 大会当日の午前8時～8時45分に開会式会場(小田原城天守閣広場)で。

☎ 陸上競技協会・譲原脩二 ☎ 47-3791

募集

人員、作品、参加者の募集など

社会福祉協議会ヘルパー

対象 福祉活動に理解と情熱をもち、健康で家事のできる方

時間 原則として月～土曜日の午前9時～午後5時。曜日・時間は相談に応じます。

週2～3回、1回2～3時間程度の活動でも可

内容 お年寄りや障害のある方の家庭での食事づくり、そうじ、洗濯、買い物など
給与 時給1,070円(午後5時以降1,330円)。研修あり。交通費実費支給。

☎ 申込 社会福祉協議会 ☎ 35-4000 (☎ 572)

かながわ・ゆめ国体 花づくりボランティア

ようこそ小田原へ! 歓迎の気持ちを花に

託し、「かながわ・ゆめ国体」に全国から訪れる選手・役員の方を温かく迎えるため、歓迎飾花用プランターづくりに協力いただく「花づくりボランティア」を募集します。

募集期間 12月2日(月)～2月28日(金)

応募資格 市内在住の方(個人・団体とも可)

内容 平成9年のリハーサル大会と10年の本大会にあわせて花を咲かせ、会場と会場周辺に花を飾ります。必要に応じて講習会をします。

報酬 無償。大会終了後に、育てた花を差し上げます。

応募方法 市役所(5階国体推進課、2階総合案内)、支所・連絡所にある応募用紙で。

☎ 国体推進課 ☎ 33-1661

『あわてんぼうのサンタとクリスマスソング』のボランティア



12月23日のクリスマスイベント『あわてんぼうのサンタとクリスマスソング』のお手伝いをしてくれる方を募集します。

今年で3回目を迎えるこのイベントは、小田原女子短期大学、関東学院大学、市民合唱団など関係団体のご協力で、市内の福祉施設や商店街、各家庭をサンタクロースにふんして訪問し、子供たちにクリスマスソングとプレゼントを贈ります。

☎ 申込 12月13日(金)までに商店街連合会 ☎ 22-5961 FAX 23-7758

12月1日から 年末たすけあい運動

共同募金会小田原市支会 ☎ 35-4000

お知らせ

市・官公庁からのお知らせ

市納付金 12月分

口座振替は12月30日に引き落としです。

今月の納付金(年内納付に協力)

市県民税12月随時分・清掃手数料・国民健康保険料・国民年金保険料・保育料・住宅使用料・水洗便所改造資金貸付金返還金

☎ 収納課 ☎ 33-1341

イベント

各種催しものなど

ふれあい発信基地・西湘 ともしびフェスティバル'96

日時 12月12日(木) 午後1時～

場所 市民会館

主な内容

- ・講演会「春風亭小朝の人間万歳!!」
- ・高齢者の動きが疑似体験できる「インスタントシニア体験」
- ・ニュースポーツ体験
- ・シルバー世代のメイクアップ
- ・かまぼこのお寿司と飾り切り体験試食
- ・障害者施設・作業所など製品販売
- ・福祉・住宅改造・介護用品相談

☎ 社会福祉協議会 ☎ 35-4000

かながわともしび財団 ☎ 045-312-1121

とれたての魚をどうぞ 小田原・港の朝市

12月の港の朝市は、29日(日)に朝市感謝デーとして大売り出しをします。

場所 小田原漁港西側岸壁

時間 鮮魚は午前9時～(鮮魚以外は午前8時～)

12月の開催日 7日、14日、21日、29日

☎ 小田原市漁協 ☎ 22-6617

野菜即売会

新鮮で安全な野菜と、好評の手作りみそや漬け物などを用意。

日時 12月16日(月) 午前10時～(売り切れ次第終了)

場所 市民会館

☎ 小田原市消費者の会(市民生活課) ☎ 33-1396

20歳の同窓会

今回の成人式は、なつかしい友だちと同窓会気分。フリートーク形式で行います。

なお、案内状は年内に発送予定です。その後、転入された方には別にご案内します。

日時 1月15日(祝) 午前10時30分～

場所 小田原アリーナ

対象 昭和51年4月2日から52年4月1日までに生まれた方(平成9年1月1日現在、小田原市に住民登録のある方)

☎ 青少年課 ☎ 33-1723



講演・発表

講演会・展示・発表

おだわら・おんなの交流会

いろいろな会議に参加した女性たちが、元気な活動や交流の様子を伝えます。サッチャー前英国首相の講演会の報告もあります。

日時 12月20日(金) 午後1時30分～3時30分

場所 中央公民館

発表

- ・「日本女性会議'96うつのみや」参加・安藤裕子さん
- ・「北海道・東北・関東甲信越地区男女共同参画推進地域会議」参加・餘舛セツさん
- ・「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」参加・椎野典子さん

託児 2歳以上就学前まで・予約制

☎ 女性行政室 ☎ 33-1725

人権ポスターコンクール



矢作、芦子、町田、桜井の4つの小学校児童のコンクール。相手の立場を思いやることの大切さを理解した作品217点が寄せられました。

金賞 市川望美(矢作小4年)

銀賞 工藤美紗子(桜井小6年)

銅賞 吉川ひとみ(芦子小5年)

銅賞 富田剛司(町田小6年)

■入賞作品の展示

日時 12月4日(水)～10日(火)

場所 市役所2階ロビー

☎ 市民相談室 ☎ 33-1383

酒匂川ウォッチング

水辺に集まる渡り鳥、河原の丸っこい石。酒匂川には興味を引く自然がいっぱい!

日時 12月26日(木) 午前9時～11時30分

集合 かもめ図書館に午前8時55分

対象 小学3年～中学3年生

講師 児童文化専門委員・谷圭司さん、西山清和さん

定員 20人・先着順

参加料 50円(傷害保険料)

持ち物 双眼鏡、鳥類図鑑、岩石図鑑など
服装 防寒に注意して、歩きやすい服装で

☎ 12月15日(日)から市立図書館 ☎ 24-1057

交通安全ポスター

交通事故防止運動にあわせ、市交通安全ポスターコンクールの入賞作品を展示。

期間 12月11日(水)～20日(金)

場所 市役所2階ロビー

☎ 市民生活課 ☎ 33-1851

こどもの行事

児童対象の行事など

えほんのよみきかせ 冬のおたのしみ会

日時 12月14日(土) 午後3時～4時(2時30分開場)

場所 市立図書館

プログラム

- ・パネルシアター「ペーパサートナあそび」
- ・おはなし「だめといわれてひっこむな」
- ・えほん「おむすびころりん」
- ・大型かみしばい「セロひきのゴージュ」
- ・小さな人形劇「まちのねずみといなかのねずみ」

出演 えほんのよみきかせグループ「すずの会」

入場料 無料

☎ 市立図書館 ☎ 24-1057

市民プラザ

クリスマスチャリティーコンサート

日時 12月15日(日) 午後2時～

場所 市民会館

合唱 小田原少年少女合唱隊/マルベリー・クワイア/マルベリー・メー・クワイア

入場料 2,000円

☎ 岡本 ☎ 0463-87-2872

小さな音楽家たちのコンサート 出演者募集

ピアノ、リコーダーほかのオーディションを行います。

日時 1月19日(日) 午前10時～

場所 市民会館小ホール

対象 来年度の小・中・高校生

参加料 1,500円

☎ 園田 ☎ 36-3373

中高年の軽体操

中高年で軽体操やリバウンドバレーを楽しんでいます。参加を。

日時 毎週火曜日 午後1時～2時30分

場所 スポーツ会館

会費 月1,000円

☎ 光栄会・村瀬 ☎ 22-3250

m message

☎ 34-2814

フラワーガーデン12月の行事



①草花の寄せ植え教室

日時 12月22日(日) 午後1時30分～

教材費 2,000円

持ち物 鉢(30cm×20cm程度)、手袋

申込 12月3日から・先着30人

②草花の即売会

地元生産者の即売会

日時 12月8日(日)・22日(日) 午前9時～
午後3時

松永記念館常設展

館蔵版画作品展



郷土文化館が所蔵する浮世絵やすごろくなど、主に江戸時代に作られた版画作品を展示しています。

会期 3月30日(日)まで

場所 松永記念館

休館 毎週月曜日、月末日、年末年始

入館料 無料

☎ 郷土文化館 ☎ 23-1377

小田原市「梅まつり」協賛

NHKのど自慢公開録画



ゲスト 北島三郎 田川寿美

■観覧者募集

日時 2月9日(日) 開演午後0時15分

終演午後1時30分

場所 市民会館

入場料 無料

放送予定 3月23日(日) 午後0時15分～1時

申込 往復はがきに(1枚で1人)、申込者の住所、氏名、電話と観覧希望と書いて、1月10日(金)(必着)までに、〒250小田原市荻窪300小田原市役所文化交流課「のど自慢観覧係」まで。申込多数のときは抽選です。

☎ 文化交流課 ☎ 33-1706

■出場者募集

日時 2月8日(土)(予選)

2月9日(日)(収録)

場所 市民会館

申込 往復はがきに(1枚1人、または1組)、①住所②氏名③年齢④職業⑤電話番号⑥歌う曲目⑦その曲を歌っている歌手名⑧選曲の理由を書いて、1月13日(月)(必着)までに、〒231横浜市中央区本町1-4NHK横浜放送局「のど自慢出場係」まで。申込多数のときは抽選です。

☎ NHK横浜放送局 ☎ 045-211-0418

みんなで楽しく新年の準備

正月のお飾り教室と餅つき

日時 12月22日(日) 午後1時～4時

場所 尊徳記念館

対象 小学4年生以上40人

材料費 1,000円

申込 12月5日(木)から尊徳記念館

☎ 36-2381



郷土文化館の体験学習会

しめ飾りを作ろう



日時 12月22日(日) 午前9時30分～午後3時30分

場所 郷土文化館

対象 小学4年生以上30人

材料費 1,000円

持ちもの 筆記用具、はさみ、昼食など

申込 12月14日(土)から郷土文化館 ☎ 23-1377